



<学校教育目標>

たくましさ
ゆたかさ
かしこさ

<今年度の重点目標>

よりよい学びを創る子ども
の育成
～key word つながり

令和4年7月22日 第4号

富良野市立東小学校

TEL 22-4895

FAX 22-4997

地域と協働した教育活動のさらなる推進を

校長 小林 真弓

7月22日の本日、無事終業式を迎えることができました。1学期をふりかえると、4月中旬は新型コロナウイルス感染症の影響による学級閉鎖が相次ぎましたが、すぐにオンライン授業の体制を整え、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境調整を図りました。それができたのも、本校教職員のICTスキルと研修意欲の高さ、柔軟に対応できる力、皆で共に前向きに取り組もうとする意識が高いからなのです。

「コロナ禍であっても、感染予防対策を十分とりながら教育活動の充実のために今できることを実践する」のが私の方針です。運動会、遠足、宿泊体験学習、修学旅行、社会見学等の教育活動をはじめ、ICT活用によるハイブリッド参観日、オンラインによる家庭訪問、三密に配慮してのPTA総会、CS活動の再起動・活性化、保護者・CS委員による授業への協力等、保護者・地域と協働した教育活動を感染予防対策をとりながらも推進することができました。

今年度の重点目標である「よりよい学びを創る子ども」の育成に向けて、全教職員が一つになって教育活動を推進できたのも、保護者・地域の皆様から本校の教育活動に御支援・御協力をいただくことができたからなのです。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

教育活動の取組をさらに充実したものにするためには、取組に対する評価と改善を繰り返し行う必要があります。そこで先日、学校評価アンケートを実施いたしました。保護者の皆様にはご協力いただきありがとうございました。現在集約・考察を行っており、改善策をチームで検討しているところです。来月以降の学校だよりにて結果と改善策についてお知らせいたします。

今年度の夏休みには、「東っ子わくわく夏の学びタイム」を実施します。将来教員を目指す富良野高校生と緑峰高校生計29名、CS委員3名と連携した学習支援事業です。高校生にとっては、小学生の学年発達段階に合わせた学習支援体験ができる機会として、本校としては教員の働き方改革として、CSとしては学校の応援隊として、互いのニーズが合致した地域協働活動といえるでしょう。冬休みにも計画しますので、さらに参加する児童が増えてくれることを願っています。

夏休みは家族で様々な体験や色々な方とのコミュニケーションを通して、豊かな心や態度を育てるのに適した時期といえます。ぜひ「豊かな心」について、日ごろからご家庭でも話題にしていきたいと思えます。

「元気な挨拶」「優しい心」を誰にでも実践できる子を共に育てていきましょう。